

LESSON 14-1 関係代名詞

収録 pp.89~92

A 関係代名詞(主格)

pp.208~209

先行詞が「人」なら who, 「人以外」なら that / which を使う。

① Do you know the name of the person **who** founded this college?
(この大学を創立した人の名前をご存じですか)

② They're creating robots **that** help people with disabilities.
(彼らは障がいのある人々を助けるロボットを作っている)

①「～する人」のように、「人」に説明を加えるときは、(名詞(人)+ who + 動詞...)とする。この who を関係代名詞といい、関係詞節(関係詞で始まる語のかたまり)で説明を加える名詞を先行詞という。

that も使うことができるが、「人」の場合、who を使うのがふつう。

②「～するもの」のように、人以外のものに説明を加えるときは、(名詞(人以外)+ that / which + 動詞...)とする。

③④⑤ 関係代名詞は説明部分(=関係代名詞節)の中で主語のはたらきをしている(主格)。

説明部分=関係代名詞節

Do you know the name of the person **who** founded this college? ※ who は founded の主語にあたる。
先行詞 関係代名詞 動詞 (主語)



B 関係代名詞(目的格)

pp.210~213

先行詞が「人」なら whom / who, 「人以外」なら that / which を使う。

③ Tell me about the person **whom** you respect most.
(あなたが最も尊敬する人のことを話してください)

④ This is the new technology **that** we have wanted.
(これは私たちがほしいと思っていた新しいテクノロジーです)

③「…が～する人」のように、説明部分に(主語+動詞)が含まれる場合は、(名詞(人)+ whom / who + 主語+動詞...)とする。whom を使うのが正しいが、口語では who を使うことが多い。

④「…が～するもの」のように、人以外のものに(主語+動詞)を含む説明を加えるときは、(名詞(人以外)+ that / which + 主語+動詞...)とする。

③④⑤ 関係代名詞は説明部分(=関係代名詞節)の中で目的語のはたらきをしている(目的格)。

説明部分=関係代名詞節

Tell me about the person **whom** you respect most. ※ whom は respect の目的語にあたる。
先行詞 関係代名詞 主語 動詞 (目的語)

⑤目的語のはたらきをする関係代名詞は省略することができる。

③ = Tell me about the person you respect most.

④ = This is the new technology we have wanted.

α

関係代名詞が前置詞の目的語のはたらきをすることもある。

Most of the people **whom** I talked to agreed to my plan. ※ whom は前置詞 to の目的語のはたらきをしている。

(私が話した人のほとんどは、私の計画に賛成してくれた)

EXERCISES

1 日本語の意味に合うように、[]から適切な語を選びなさい。 A

- (1) ステージで踊っている女の子は私の妹だ。
The girl [who / which] is dancing on the stage is my sister.
- (2) これは横浜行きの電車ですか。
Is this the train [who / that] goes to Yokohama?
- (3) 私には病院で働いているおじがいる。
I have an uncle who [work / works] in a hospital.

2 日本語の意味に合うように、()に適切な語を入れなさい。ただし、関係代名詞は that 以外を使うこと。 B

- (1) あなたは昨日私たちがバスで会った男性を覚えていますか。
Do you remember the man () () () on the bus yesterday?
- (2) あなたが私に貸してくれた DVD はとてもおもしろい。
The DVD () () () me is very interesting.

3 各組の文がほぼ同じ意味になるように、()に適切な語を入れなさい。ただし、関係代名詞は that 以外を使うこと。 A B

- (1) I have to return the book. I borrowed it last week.
I have to return the book () () last week.
- (2) The woman has three cats. She lives next door.
The woman () () next door has three cats.

4 日本語の意味や与えられた状況に合うように、()内の語句を並べかえなさい。 A B

- (1) これはトムが先週買った自転車だ。
(bought / is / this / Tom / the bicycle) last week.
..... last week.
- (2) 状況 あなたはブラウン先生がどういう人が説明しています。
Mr. Brown (the teacher / is / science / teaches / us / who).
Mr. Brown
- (3) 状況 タナカ先生が、あなたが置き忘れた筆箱を持っています。
This is (I've / for / that / been / the pencil case / looking).
This is

TRY! []内の語を参考にして、～や…に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。 A B

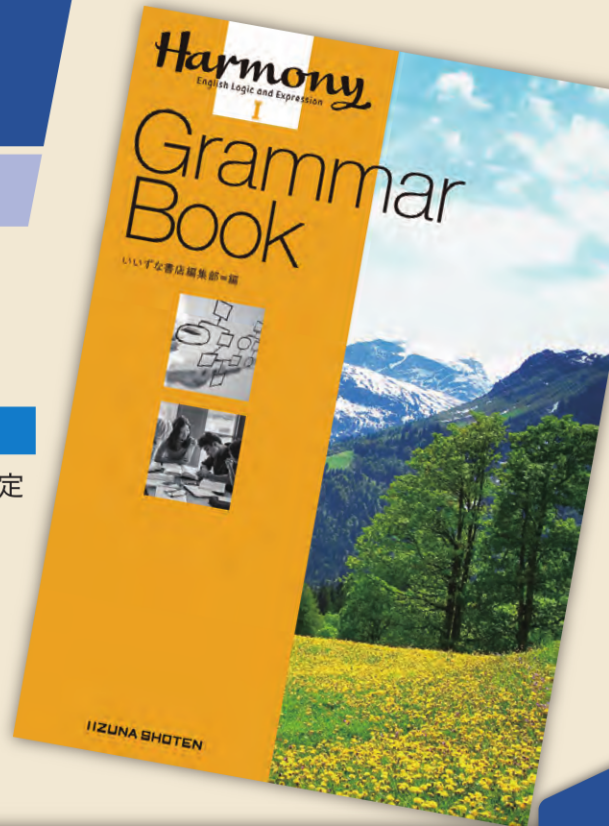
- (1) 彼女は～することができる生徒だ。[speak / play]
She is a student
- (2) これは～が私にくれた…だ。[book / T-shirt]
This is me.

Grammar Book 本冊 (80 ページ / 1 レッスン 2 ページ 構成)

- 教科書の学習項目+αで、否定、時制の一致・話法、接続詞などもカバー
- 参考書『総合英語 Harmony』の参照ページを掲載、より深い学習をサポート
- 左ページで例文&文法解説、右ページで演習問題の使いやすいレイアウト
- イラスト問題・部分英作文あり
- テスト自動作成テストクリエイター対応

別冊 解答・解説書 (44 ページ)

- EXERCISES の解答、解説、英文の日本語訳を掲載



Grammar Bookの内容と活用例

● Grammar Bookは1レッスンあたり20～30分程度の学習時間を想定

活用例①: 授業中に教科書の補完としてGrammar Bookを使用

→教科書の未習項目は「発展」とわかりやすく記載

活用例②: 生徒に配布し自宅学習用教材として使用

→総合英語 Harmonyの対応ページを掲載: 参考書でより深い学びが可能

→実践的な問題形式で定期試験や外部試験の対策が可能

LESSON 14-2 関係代名詞

教科書 pp.91～92

C 関係代名詞 (what)

pp.214～215

○関係代名詞 what は「～するもの/こと」という意味で、名詞のはたらきをする節をつくる。

- ⑤ What impressed me was his talent for invention. (私を感動させたのは彼の発明の才能だった)
 ⑥ I can't believe what she discovered. (私は彼女が発見したものが信じられない)

①「～するもの/こと」は〈what + 動詞...〉で表せる。この what は関係代名詞で、名詞のはたらきをする節をつくる。関係代名詞 what は先行詞を含んでいるので、直前に名詞を必要としない。

②「～が～するもの/こと」は〈what + 主語 + 動詞...〉で表せる。

◆関係代名詞 what がつくる節は主語・補語・目的語になる。

What impressed me was his talent for invention. ※ what で始まる関係代名詞節が文の主語になっている。
主語

I can't believe what she discovered. ※ what で始まる関係代名詞節が believe の目的語になっている。
目的語

Check!

関係代名詞 what を使った表現: what I am 「今の私」、what I used to be 「昔の私」、what is called ... 「いわゆる～」、what is more 「そのうえ」、what is worse 「さらに悪いこと」など

発展 関係代名詞の非限定用法

pp.216～217

○〈コンマ + 関係代名詞...〉で先行詞に情報を追加することができる。

- ⑦ They have two daughters, who are studying abroad. (彼らには娘が2人いて、どちらも海外留学している)
 ⑧ The kitchen, which was renovated recently, looks nice. (台所は、最近リフォームしたので、すてきに見える)

①⑥ 先行詞のあとにコンマを入れて、先行詞について補足的に情報を追加することができる。この用法を非限定用法(継続用法)という。(コンマがない場合は限定用法という。)

◆限定用法と非限定用法には次のような違いがある。

【限定用法】 They have two daughters who are studying abroad.
先行詞 関係代名詞

※留学している2人以外にも娘がいるかもしれない。

【非限定用法】 They have two daughters, who are studying abroad.
先行詞 関係代名詞

※娘は2人だけで、2人とも留学している。

文+α

先行詞が固有名詞の場合は必ず非限定用法になる。
 This is Eric, who teaches English at our school. (こちらがエリックで、私たちの学校で英語を教えています)

◆関係代名詞 that は非限定用法では使えない。非限定用法で説明を加えるときは、必ず who や which など、that 以外の関係代名詞を使う。

EXERCISES

1 日本語の意味に合うように、関係代名詞 what を使って、英文を完成させなさい。

- (1) 私は彼女が言ったことが理解できない。
 I don't understand
 (2) 大切なのはお互いに助け合うことだ。
 is to help each other.
 (3) これは私が注文したものではない。
 This is not

2 日本語の意味に合うように、()に適切な語を入れなさい。

- (1) 私はしばしば J ポップをよく聞きます。
 I often listen to () () () "J-pop."
 (2) 暗かった、そしてさらに悪いことに、雨が激しく降り始めた。
 It was dark, and () was (), it began to rain hard.
 (3) この店のピザは安く、そのうえおいしい。
 This shop's pizza is cheap, and () () (), it is tasty.

3 日本語の意味に合うように、[]から適切な語を選びなさい。

- (1) 父は私に新しいスマートフォンを買ってくれて、私はそれを毎日使っている。
 My father bought me a new smartphone [which / , which] I use every day.
 (2) ケンはオーストラリア出身だが、日本語をとても上手に話す。
 Ken, [that / who] is from Australia, speaks Japanese very well.

4 日本語の意味や与えられた状況に合うように、()内の語句を並べかえなさい。ただし、不要なものが1つ含まれている。

- (1) スーザンのお父さんは銀行に勤めているのだが、しばしば帰宅が遅い。
 (a bank / for / Susan's father / which / who / works / ,), often comes home late.
, often comes home late.
 (2) 状況 自分たちの友だちの意外な行動を聞いて……。
 (can't / what / we / did / believe / he / which).

 (3) 状況 あなたはずっと作業に没頭している友だちが心配になり……。
 (need / you / some / what / that / is) rest.
 rest.

TRY! []内の語を参考にして、～や…に自由に語句を入れ、オリジナルの英文をつくりなさい。

- (1) 私は～に住んでいるが、それは…で有名だ。[temples / festival / apples]
 I live in
 (2) 私が今ほしいのは～だ。[computer / someone / TV]
